

# 光市医師会報

昭和52年8月発行

No. 61号



慈悲よりも正義がすべての  
社会の基礎である(西諺)

光市医師会

## 医師会月間行事

- ※ 7月26日(火)例会 於甲子園ピヤガーデン 午後7.00
- 報告・連絡事項 (1)参院選挙各郡市の得票について (2)母子家族の診療について (3)老人検診について (4)医師会長会議及び医師国保組合会議について (5)労務対策について
- ※ 7月26日(火)納涼懇親会 於甲子園ピヤガーデン 午後8.00
- ※ 8月10日(水)理事会 於医師会館 午後7.30
- 協議事項 (1)会員の申出について(医院増改築) (2)循環器等検診について (3)郡市正副会長会議の議題について (4)高額療養費の貸付制度について (5)老人検診について
- 報告・連絡事項 (1)諸会議(郡市医師会正副会長会議、県内臨床検査センター協議会)
- (2)1才6ヶ月児健診の実施について (3)麻薬担当理事協議会報告 (4)会員の入会について (5)医師年金の件
- ※ 8月23日(火)例会 於医師会館 午後7.30
- 報告・連絡事項 (1)入会者紹介 (2)麻薬担当理事協議会報告 (3)臨床センター協議会について (4)郡市医師会正副会長会議について (5)老人検診・成人病検診について (6)小児科医会について (7)1才6ヶ月児の検診について
- 検討事項 救急班グループの編成について (1)救急連絡網(電話)を基幹とし原則として各地区毎 (2)備付救急器具・救急薬品の整備 (3)理事会で再検討
- ※ 8月23日(火)救急処置研修会 ショックの救急処置及び自験例  
担当 富恵担当理事  
於医師会館 午後8.30

### 虹ヶ浜辺に古典の華開く

第35回山口県医謡大会  
於7月17日松原屋旅館



素謡 鞍馬天狗 光市医謡会

第35回山口県医謡大会が、各郡市の医謡会員・家族・物故会員の御遺族を含め83名の多数参加のもとに盛会に開催されました。前夜の激しい雷雨に当日の天候が心配されま

したが、当日は幸い曇天ではあったが、前夜の雨に洗われた虹ヶ浜の松林は一段と鮮やかな緑を増して謡曲の会にふさわしい静けさと優雅な環境をかもし出しました、午前9時光市医謡会の出演に始まり、県下各医師会の医謡会は夫々に、豪放・優雅・華麗・閑寂古淡午後5時まで熱演が続きました。午後5時30分より懇親会を開催し来年度の引受地山口市での再会を約しつつ和気あいあいの内に閉会散会しました。

### 会員の異動

#### 入会

板垣省三先生(市民病院副院長)  
吉田町立病院より  
循環器疾患専門

## 小児科当直医マニュアル

## 2. 昏 睡

1. 第1に呼吸、循環の管理に注意すること  
ことに気道の確保が大切である。

吐物誤嚥の防止（胃チューブ）

酸素吸入（テント）

保温（高熱の場合は冷却）

輸液（血圧低下がみられる事が多い）

吸引、蘇生器の用意等を行なう。

尿閉あれば導尿（尿は検査用に保存）

2. 原因の検索

- 1) 家族からの問診（これだけは訊きたいもの）

中毒の可能性（服薬、家庭での毒物接触）

外傷（頭部）の可能性（数カ月まで遡る）

既往疾患（痙攣の有無、現在治療中の疾患、以前同様のepisodeがなかったか）

- 2) 検査、診察（事情が許す範囲で行なう）

① 呼吸の臭気の異常、呼吸数、深さの異常、呼吸困難

② 黄疸の有無、出血斑の有無、発疹の有無

③ 頭部の外傷の有無をさがす

④ 瞳孔の状態、（対光反射、瞳孔不对称、睫毛反射）

⑤ 体温、脈拍、血圧測定

⑥ 導尿による尿の検査

糖、蛋白、pH、（以上コンビスティックス）

ケトン体（ケトスティックス）比重

⑦ 血液、糖（デキストロススティックス）

尿素N（ユニグラフ）

末梢血による血算

なるべく採血して血清（漿）を分離して保存（GOT、Na、K、Cl、Ca等）、血糖用の検体もとっておく

⑧ 眼底検査（うつ血乳頭、出血等）

⑨ 腰椎穿刺（脳圧亢進の疑われるときは要注意、うつ血乳頭、瞳孔不对称、呼吸異常の有無に注意、他の検査を先にする、また行なう場合は細い針を使い排液量を極力少なくする）

⑩ 尿、吐物は、中毒が疑わしいときは保存する。

⑪ 頭部X-P

3. 鑑別すべきもの

1) 中毒：抗痙攣剤、睡眠剤、タバコ、鉄剤、一酸化炭素、鉛、殺虫剤、殺鼠剤、農薬等

2) 頭部外傷：脳外科へ相談  
（頭蓋内出血、脳振盪、脳挫傷）

3) 代謝性昏睡：

糖尿病性→4. 治療の項の3) 参照

（多くは尿糖(卍)、ケトン(卍)）

低血糖性（血糖検査、多くは顔面蒼白、冷汗、頻脈等、アドレナリン分泌過剰の症状を伴う）

肝性（黄疸に注意、出現前のことあり、また夜間はわかりにくい）

尿毒症（尿所見あり）

高アンモニア血症（窒素摂取との関係）

高血圧性脳症（高血圧）

CO<sub>2</sub> narcosis

4) 痙攣後昏睡：……痙攣再発の予防（けいれんの項）

5) 脳炎、髄膜炎：（髄液所見）

いわゆる急性脳症

6) 頭蓋内出血：（頭部外傷の既往、貧血、脳圧亢進症状）

7) 消化不良性中毒症、疫痢：（下痢嘔吐との関係）

8) 循環系ショック（血圧低下）、発作性頻拍症（心拍数、ECG）

4. 治 療

1) 昏睡の対症療法  
 citicoline (Nicholin) (乳児50mg, 学童300mg) 1~2回/日点滴  
 medlofenoxate (Lucidril) 1A (250mg 乳児1/2A, 学童1A) 点滴  
 この他に 1-glutamate (Ancoma) ATP (Adet phos), cytochrome -C (Cytochron) などが試みられることもある。

2) 脳浮腫, 脳圧亢進に対して  
 Predonin の大量静注 (点滴) (3~5 mg/kg/日), 筋注 (痙攣の閾値を下げる傾向があるため, status epilepticus の際は要注意)。

20% manitol (Maniton -S) 急速点滴注入 (乳児50, 学童100~200ml位 (1~2g/kg) を1時間で点滴) (腎機能不全では禁忌)

reboundがある点, 繰返すと脱水症をおこし hypovolemic shock の危険がある点に注意, rebound抑制の目的で点滴終了2時間後に hydrocortisone または dexamethasone の側管注をする方法もある。(Decadron で2~3mg/10kg程度)

3) 基礎疾患に対する治療  
 糖尿病性昏睡: 高血糖あり, 多くはケトン体が出ている。治療の原則はインスリン (regular 又は actrapid) の静注皮下注 (過剰投与に注意) と, 輸液 (アチドーシスの矯正, インスリンが効いてくると低K血症がおこることに注意) である。

低血糖症: 20%ブドウ糖静注により血糖値を保たせる。これのみで不十分なら, glucocorticoid, glucagon などを用いる。

高血圧性脳症: けいれんの治療 (フェノバル注), 降圧剤 (レセルピン 0.07 mg/kg, アプレリン 0.1mg/kg を同時

に筋注) をまず行なう。瀉血 (5ml/kg 以内, 200ml 位まで), 酸素 Tent, 心不全の対策 (Cedilanid など) を考慮する。 { 診断と治療社  
 神奈川県立こども医療センター }

あとがき

医療保険制度の改革問題が来年度予算編成とからんで今秋の大きな政治問題として浮上するであろう。前国会で継続審議となった健康保険法改正案は9月末の次期国会での最大懸案の一つであり、社保審、健保問題懇談会で現在審議中の53年度をメドとした医療保険制度の基本的見直しも、秋までには何らかの形で意見がとりまとめられ、政府の対応がせまられるにちがいない。

虫の音や夜更けてしつむ石の中 (園 女)

人事院勧告による国家公務員の俸給月額増加例 (単位千円)

職名	等級	現行俸給月額	勧告による俸給月額	増加率 (%)
◇行政(一)				
供員	8-6	76.9	82.1	6.8
	7-6	105.2	112.8	6.9
	6-6	131.7	140.9	7.0
保健課長	9-10	184.6	197.6	7.1
保健課長補	8-10	213.4	228.6	7.1
保健課長補	7-10	244.9	262.3	7.1
保健課長補	6-10	276.3	296.0	7.1
◇行政(二)				
用務・自動車・船	4-12	113.9	121.8	6.9
用務・自動車・船	3-12	129.8	138.0	7.0
用務・自動車・船	2-12	143.2	152.4	7.1
◇税務				
課長	7-7	90.5	96.7	6.9
課長	6-7	127.2	136.5	7.1
課長	4-11	180.4	193.2	7.1
◇公安(一)				
皇宮警察部補・警守	7-13	121.0	128.6	7.1
皇宮警察部補・警守	5-24	208.4	223.4	7.2
◇教育(一)				
助講	4-12	158.1	169.7	7.3
助講	3-9	178.3	191.3	7.3
助講	2-13	206.2	221.0	7.5
助講	1-13	273.4	293.1	7.2
◇研究				
研究員	3-13	146.3	157.0	7.3
研究員	2-13	204.1	218.5	7.1
研究員	1-13	263.7	282.5	7.1
◇医療(一)				
医師	4-12	165.7	177.4	7.1
医師	3-13	227.2	242.9	7.1
◇医療(二)				
看護婦	4-9	97.7	104.5	7.0
看護婦	3-11	121.0	129.6	7.1
看護婦	2-13	164.2	175.8	7.1
看護婦	1-10	220.7	236.4	7.1

発行所 光市小園防1633の2林医院内  
 光市医師会  
 TEL 0833 77-2601  
 発行者 林 孝之  
 編集者 会報編集委員会  
 印刷所 光市御崎町  
 中村印刷株式会社